

第48号

協会たより

公益社団法人
大正琴協会

〒460-0011

名古屋市中区大須3丁目8番20号 高栄ビル2F

TEL (052) 263-9633

URL <http://www.taishokoto.or.jp>E-mail info@taishokoto.or.jp

理事長挨拶

公益社団法人大正琴協会 理事長
鈴木 禮子

日頃より公益社団法人大正琴協会に深いご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

二年間に及んだ新型コロナウイルス感染拡大は社会のシステムや人々の生活に大きな影響を及ぼし、特に外出自粛要請が発出されたことで人との交流に一定の規制がかかり各種イベントの延期や中止が相次ぎ、大正琴愛好家である正会員の皆様方も一堂に会しての練習や発表会を断念および延期をせざるを得ない状況になるなど、様々なご苦労があったかと思えます。

コロナ感染拡大は今後も完全終息とはならないものの、ウイズコロナという考えのもと、感染防止を徹底し、社会生活を正常なものに戻そうという動きが活発化されてきました。

皆様の各地域での大正琴の演奏会も最近では数多く行われ、ご出演いただいた皆様から満面の笑みが溢れ、やはり、演奏の醍醐味は対面での演奏会ならであり、そこから得られるのは一体感や達成感、そして大きな感動であると思えます。

令和5年度は会員皆様のご支援のもと、設立30周年を迎えます。今後とも加盟流会派ならびに正会員の皆様と共に大正琴普及活動に邁進していきたいと思えます。

公益社団法人大正琴協会 第10回通常総会議事録

- 総会の種類 第10回通常総会
- 開催日時 令和4年5月27日(金)
午後1時00分から午後1時40分
- 開催場所 (1)名古屋市中区大須3丁目8番20号
高栄ビル2階
公益社団法人大正琴協会事務所
(2)愛知県名古屋市中区昭和区御器所1丁目6番24号
(愛知会場)
(3)静岡県浜松市中区領家2丁目25番7号
(静岡会場)
(4)長野県駒ヶ根市赤穂14番地545
(長野会場)
- 出席社員の状況
議決権のある社員(正会員)総数 2,849名
総社員の議決権の数 2,849個
出席社員数(委任状による者を含む) 1,843名
この議決権の総数 1,843個
(内、代理権行使による議決権数 1,832個)
なお、愛知会場、静岡会場及び長野会場に存する社員は、WEB会議システム(インターネット回線を使用した音声と映像を伝達するシステム)により、本総会に出席した。
- 議長兼議事録作成者 副理事長 北林 篤
- 出席役員等
出席理事 北林 篤、鈴木禮子、岩間昌一、中村敏裕
出席監事 遠島敏行、丹羽正夫
事務局 横澤美樹
なお、次の理事は、WEB会議システムにより、次の場所

において出席した。

- (1)愛知会場 岡本浩二、加藤 誠、楠本好弘(新任)
- (2)静岡会場 竹森雅裕、町田謙吾
- (3)長野会場 藤澤賢治、米山千秋

7. 会議の目的事項並びに議事の経過の要領及び結果

- (1)開会
定刻に、司会者の中村敏裕理事が挨拶。
なお、WEB会議システム利用に際し、情報伝達の双方向性・即時性の確保がなされていることを確認した旨を述べた。
竹森雅裕常務理事が、開会を宣言。
- (2)挨拶
北林篤副理事長が挨拶。
- (3)議長選出
司会者が、議長選出方法を議場に諮ったところ司会者一任の声あり。よって、出席正会員中より、北林篤副理事長を本総会の議長としたいを旨諮ったところ、全員一致をもって選出し、同氏は、これを了承し、議長となった。
議長は、事務局に出席状況の報告をさせた。議長は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員の出席があったので、本総会が成立した旨を述べた。
- (4)議事録署名人選出
議長が、議事に先立ち、議事録署名人2名の選出について諮ったところ、議長に一任することにつき、全員異議なく賛成したので、議長は、藤澤賢治常務理事及び加藤誠理事を指名し、これを議場に諮ったところ全員異議なく承認した。被選任者らは、いずれもこれを承諾した。

(決議事項)
第1号議案 令和3年度事業報告の承認に関する件
議長が、岡本浩二常務理事に本件議案の説明を求めた。同氏は、予め配布した資料をもとに事業報告について詳しく説明した。
以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、全員一致をもって承認可決した。

第2号議案 令和3年度計算書類の承認に関する件
議長が、事務局に本件議案の説明を求めた。事務局より、当期（令和3年4月1日～令和4年3月31日）における事業状況について、予め配布した計算資料をもとに詳しい説明があった。
引き続き監事を代表し、遠島敏行監事が、理事の職務執行状況及び計算書類等を監査したところ、いずれも適正妥当であることを認めた旨を報告した。
以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、下記書類につき、その可否を議場に諮ったところ、全員一致をもって原案どおり承認可決した。
1. 貸借対照表
2. 正味財産増減計算書
3. 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属書類
4. 財産目録

第3号議案 理事及び監事の選任に関する件
議長が、当法人の理事12名及び監事2名の全員が本総会の終結をもって任期満了退任するので、その改選の必要がある旨を述べ、その選任方法について議場に諮った。出席社員の中より意見がないため、議長が、議長の指名に一任することにより、その賛否を議場に諮ったところ全員異議なくこれに賛同した。
議長は、鈴木禮子常務理事に役員候補者案の説明を求めた。同氏は、役員候補者が下記の理事13名及び監事2名である旨を報告した。
議長が、下記候補者を指名し、それぞれの選任の賛否を議場に諮ったところ全員一致をもって、下記全員につきそれぞれの選任を承認可決した。
なお、出席理事及び監事的全員は、席上、いずれもその就任を承諾した。

理 事 鈴木禮子、岩間昌一、北林 篤、竹森雅裕、
岡本浩二、藤澤賢治、福留 強、中村敏裕、
加藤 誠、山崎照登、町田謙吾、米山千秋、
楠本好弘（新任）

監 事 遠島敏行、丹羽正夫

(報告事項)
報告1 令和4年度事業計画の報告に関する件
議長が、藤澤賢治常務理事に本件の説明を求めた。同氏は、予め配布した資料をもとに令和4年度事業計画について詳しく説明した。
以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その報告を了した。

報告2 令和4年度収支予算の報告に関する件
議長が、事務局に本件の説明を求めた。事務局は、予め配布した資料をもとに令和4年度収支予算について詳しく説明した。
以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その報告を了した。

8. 閉会
以上をもって、公益社団法人大正琴協会第10回通常総会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を謝し、降壇した。そして、岩間昌一常務理事が閉会を宣した。

上記決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は次に署名押印する。

令和4年5月27日 公益社団法人大正琴協会 通常総会

議 長 北林 篤 ㊟

議事録署名人 藤澤賢治 ㊟

同 加藤 誠 ㊟

令和4年度予算書

正味財産増減計算書の要旨

自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
経常収益	18,816
〔 基本財算運用益〕	〔 1〕
〔 受取入金、会費〕	〔 10,520〕
〔 事業収益〕	〔 2,000〕
〔 受取負担金〕	〔 6,295〕
〔 受取寄附金〕	〔 0〕
〔 雑収益〕	〔 0〕
経常費用	21,740
〔 事業費〕	〔 16,538〕
〔 管理費〕	〔 5,201〕
当期経常増減額	△2,924
一般正味財産期首残高	21,800
一般正味財産期末残高	18,876
正味財産期末残高	18,876

令和3年度決算書

貸借対照表の要旨

令和4年3月31日現在

(単位：千円)

	科 目	金 額
資産の部	流 動 資 産	5,269
	固 定 資 産	6,272
	合 計	11,542
負債及び正味財産の部	流 動 負 債	257
	負 債 合 計	257
	指 定 正 味 財 産	0
	一 般 正 味 財 産	11,285
	負債及び正味財産合計	11,542

令和3年度大正琴寄贈・講師派遣事業報告書

大正琴普及活動として、次世代継承のため学校へ大正琴の寄贈・指導を行いました。昨年度よりも多くの子供たちが、初めて楽器に触れ学んでくれました。新型コロナウイルスの影響で学校行事等も自粛されているなか、大正琴普及活動を取り入れていただいた学校に感謝申し上げます。

今年度は大正琴の寄贈20台参加校27校人数347名の皆さんが受講されました。この受講をきっかけに大正琴を続けて学んでくれることを期待しています。

会員の皆様のご協力とともにこの事業を進めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大正琴普及事業 令和3年度・寄贈講師派遣先

No	県	学校名	No	県	学校名
1	岩手県	住田町立世田米中学校	15	静岡県	島田市立島田第三小学校
2	秋田県	大館市立釈迦内小学校	16		静岡県立藤枝特別支援学校 焼津分校
3	福島県	いわき市立湯本第三中学校	17	愛知県	一宮市立千秋東小学校
4	神奈川県	子育て支援ペンギン倶楽部（横浜市立市沢小）	18		美浜市立河和中学校
5	富山県	射水市立東明小学校	19	三重県	四日市市立大谷台小学校
6		射水市立海老江児童センター	20	京都府	精華町立精北小学校
7		上市町立白萩西部小学校	21		舞鶴市立中筋小学校
8	石川県	志賀町立富来小学校	22	奈良県	王寺町立王寺小学校
9		七尾市立天神山小学校	23		王寺町立王寺南小学校
10		七尾市立和倉小学校	24	広島県	広島県立戸手高等学校
11	静岡県	島田市立金谷小学校	25	熊本県	和水町立菊水小学校
12		島田市立六合小学校	26	大分県	大分東明高等学校
13		島田市立五和小学校	27	沖縄県	南城市立大里北小学校
14		島田市立初倉小学校			

20台の大正琴を寄贈、講師を派遣し、347名の皆さんが受講されました。

令和4年度普及功労者

令和4年5月27日(金)に「公益社団法人大正琴協会第10回通常総会」が新型コロナウイルス感染防止の観点からオンラインにて開催されました。これに伴い、その席で執り行われる予定の「令和4年度普及功労者表彰式」は中止となり、受賞者19名には後日表彰状をお届けいたしました。

令和4年度普及功労者

(順不同・敬称略)



中尾 道子
京都府与謝郡



市 朱美
岡山県真庭市



栗山 多栄子
神奈川県南足柄市



平形 秋男
群馬県前橋市



川村 久江
山梨県南都留郡



松井 貞子
富山県小矢部市



立花 由紀子
和歌山県日高郡



石飛 エミ子
島根県出雲市



庵原 つね子
香川県高松市



伊藤 敏子
愛知県名古屋市



佐藤 絹代
山形県米沢市



寺西 操
山形県寒河江市



櫻田 きよ江
埼玉県行田市



勝田 松江
埼玉県東松山市



木村 文子
埼玉県本庄市



山口 和美
兵庫県明石市



本橋 小千代
岡山県岡山市



藤田 道子
香川県さぬき市



土橋 達枝
香川県高松市

美ら島沖縄文化祭2022 第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭「大正琴の祭典」

令和4年11月6日(日)に沖縄県那覇市の「那覇文化芸術劇場 なはーと大劇場」にて「大正琴の祭典」が開催されました。この催しは文化庁主催の第37回国民文化祭の事業の一環として実施し、大正琴の魅力と文化を伝承する目的で子供の部として「全国子供大正琴コンクール」と一般の部として地元沖縄県の大正琴愛好者を中心に全国から20グループが集い演奏しました。沖縄音楽を取り入れた郷土愛の溢れた祭典でした。

次回は令和5年11月12日(日)石川県金沢市文化ホールでの開催を予定しております。



令和4年度子供大正琴コンクール

令和4年度全国子供大正琴コンクール最終選考会は、美ら島おきなわ文化祭2022 第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭「大正琴の祭典」の「子供の部」として開催しました。

当コンクールの最終選考会には一次選考会を通過した計15個人・グループが出演しました。

積み重ねてきた練習の成果を舞台上で披露する緊張感と演奏し終わった後に残る満足感や反省や悔しさは子供たちの成長の糧になることでしょう。

各部門の最優秀演奏者・グループへ文部科学大臣賞が贈られました。

「令和４年全国子供大正琴コンクール」審査結果

賞	部門	本選	曲名	氏名・グループ名
文部科学大臣賞	ソロ部門A	○	くるみ割り人形	吉富心音
	ソロ部門B	○	カプリス第24番～パガニーニ主題による～	橋本莉
	アンサンブル部門A	○	バレエ組曲「ガイーヌ」より『剣の舞』	大正琴アンサンブルことふれんど ジュニアアンサンブル
	アンサンブル部門B	○	ラブソディー・イン・ブルー のだめバージョン	煌めき kid's2022
金賞	ソロ部門A	○	さくら	杉野心咲
		○	冬が来る前に	山田彩葉
	ソロ部門B	○	シクラメンのかほり	山田桜礼
	アンサンブル部門A	○	クシコスの郵便馬車	キッズ・サウンドK
		○	ちいさい秋みつけた	QUATTRO カンターレ
			花は咲く	このはとあかり
			花は咲く	ふじえだハーブフラワーズ
	アンサンブル部門B	○	夜桜お七	ドリーム娘
		○	待つわ	アンディーズ
		○	アルデバラン	キーハーブくらぶ Jr
		○	月の砂漠	上州六人組
		○	リベルタンゴ	大正琴ファンタジー・琴音人「パニラ」
		○	In the Mood	チェリーブロッサム
			銀河鉄道999(THE GALAXY EXPRESS 999)	春の会大正琴教室
			千本桜	飯島中学校
			明け星	Milky Girls
銀賞	ソロ部門A		山の音楽家	川原由衣
			「キテレツ大百科」よりお料理行進曲	今井悠月
			ミュージカル「サウンドオブミュージック」 より「ドレミの歌」	星野朱璃
			故郷	多田明音
			夕焼小焼	白鳥杏果
			(千と千尋の神隠しより) いつも何度でも	田中泰牙
			さとうきび畑	田中咲希
			手のひらを太陽に	白鳥栞菜
			荒城の月	市石あかり
	ソロ部門B		白雲の城	田中紗羅
	アンサンブル部門A		いちばんぼしみつけた	あいのきっす
			カイト	イナガキッズ with ももちゃん
			夏祭り	勿来チャンピオンズミュージック
			また逢う日まで	小さな華の会
銀賞	アンサンブル部門A		きらきら星	勿来の関一ズ
			となりのトトロ	N2 琴
	アンサンブル部門B		コンドルは飛んで行く	住田町立世田米中学校
			負けないで	大分東明高校商業科介護福祉コース1年 歯科衛生コース1年

・部門の説明（年齢基準日 令和4年4月1日*）

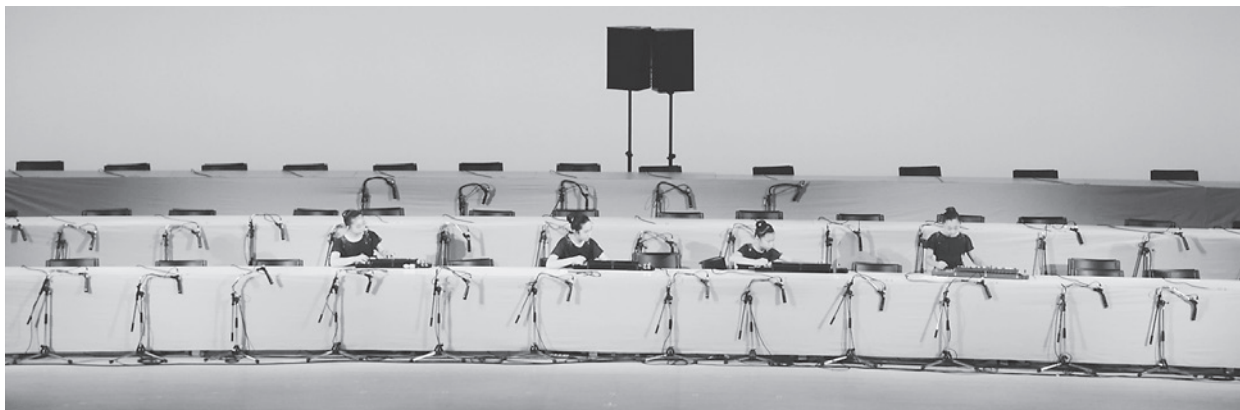
A 平均年齢が12歳以下の出演者

B 平均年齢が12歳を超える出演者

※ 令和4年3月末日までに収録したビデオで応募した場合は、応募時の学年

・「本選」欄に○のある個人・グループ計15組が国民文化祭「大正琴の祭典」の最終選考会に出場

・同じ賞の表示順は最終選考会出場者を先にした年齢（平均年齢）の小さい順



演奏の様子



最終選考会出演者

令和5年全国子供大正琴コンクール出場者募集

令和5年全国子供大正琴コンクールは、昨年に引き続き国民文化祭の事業の一環として行われることになりました。

お送りいただいたビデオ映像にて一次選考会を行い金賞・銀賞・銅賞を選定し、その中の成績上位者の方に「大正琴の祭典」子供の部（コンクール最終選考会）にご出演いただきます。

コンクールへの参加は大正琴を習う子供たちにとって大きな目標になります。演奏レベルは問いませんのでお気軽にご応募ください。

開催日：令和5年11月12日（日）

会 場：金沢市文化ホール

部 門：ソロ部門、アンサンブル部門

表 彰：金賞・銀賞・銅賞・文部科学大臣賞

参加費：無料

参加対象：18歳以下の子供

※最終選考会出演者へ一部交通費の補助があります。

※詳細は当法人へお問い合わせください。

会員たより

ブラボー大正琴!!

琴伝流 川住有慧

大正琴の可能性を求めて

ことしの全国大会は、四月に長野県駒ヶ根市で開催されました。全国各地から、この日の為に練習をかさねた仲間達が集い、演奏を披露する機会となります。

残雪の峯々、新緑のやまなみ、花桃やリンゴの満開の花々にかこまれた、素晴らしい舞台での一日となりました。仲間の、みんなの顔がかがやいてみえます。

コロナ禍の影響をうけて、最近ボランティア等の演奏会の機会も少なくなりましたが、仲間の皆さんの生々とした表情を見ると、心がほのぼのとします。少しでも早く、もとの活動が出来ますことを願っています。

大正琴の世界に入って、これまで、生徒さんや、ご家族の協力のもと、三十年余り、たずさわってきました。

実に、さまざまな試みを行ってきたものです。ドラムの青年とコラボレーションをして、数々のジャズを試みたこと。

とても面白い企画で、大正琴のある種の可能性をひき出したものでした。これからも出来ることに挑戦して、ゆきたいと考えています。

大正琴は限りなく可能性に満ちていると、私は思います。仲間のみなさんと、もっともっと追及してゆきたいと願っています。



今後の予定

第11回通常総会

開催日：令和5年6月7日(水) 会場：名古屋市内（未定）

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023「大正琴の祭典」

- ・一般の部（愛好者の皆さまの演奏）
- ・子供の部（令和5年全国子供大正琴コンクール 最終選考会）

開催日：令和5年11月12日(日) 会場：金沢市文化ホール 大ホール

入場料：無料

大正琴協会創立30年記念演奏会

- ・愛好者の皆様の演奏

開催日：令和5年12月9日(土) 会場：名古屋市公会堂 大ホール

入場料：無料

編集後記

第48号の編集にあたり、まだコロナ禍ではありますが、ようやく大正琴のイベントも全国各地域での活動も始まり、明るい兆しが出てきました。今年は大正琴協会主催による創立30年記念演奏会が大正琴発祥地名古屋で開催する予定になっております。沢山の正会員の皆さんと演奏会を盛り上げたいと思います。全国からの皆さんの参加をお待ちしております。

編集担当：岡本浩二